

化学分析を駆使して海域の汚濁と生物生産を理解する

担当教員： 坂巻 隆史 准教授（連絡先 022-795-7472, takashi.sakamaki.a5@tohoku.ac.jp）

受入人数： 最大4名

実施時期： 集中講義形式で、9月12日～16日を中心に実施。具体的な日程は初回に調整（状況によっては上記期間外に研修の一部を実施する）

初回開始： 9月12日(月) 9:00～ / 人間環境系教育研究棟304号室

概要： 沿岸海域に流入する窒素・リン等の栄養塩は、生物生産に不可欠なものである一方、人為活動からの過度な放出は汚濁問題を引き起こす。海域の生態系を保全しつつ、漁業を通じた食料生産を良好に維持するには、栄養塩や有機物等の動態を正しく評価し、適切な環境管理の方法を考える必要がある。このような研究分野では、様々な試料の化学分析を通じて、環境中の物質動態が研究されている。本研修では、海域での試料採取、化学測定・分析、データ解析など、実地を通じて物質動態解析の方法を学ぶとともに、沿岸海域の環境管理について考える。

